

『青高テスト』の導入と『3学期制』への移行

【青高テストの導入】

本校は、勉強と部活動の両立を目指し45分7限授業を実施しています。これにより、放課後の部活動等の時間をしっかり確保しています。一方、「わかる授業の工夫」、「習熟度授業の実施」、「英語検定への全員チャレンジ」、「土曜講座の実施」等により、学力の向上にも積極的に取り組んでいます。

次年度は、これらの取組に加え『青高テスト』を導入することにしました。これは、定期考査と実力考査の別をなくし、年間8回の『青高テスト』として統一するものです。この『青高テスト』は、短いスパンでテスト範囲を示し、全てのテストを同等に評価するもので、これにより生徒が考査に対して、今まで以上に意欲的に取り組みやすくなると考えています。また、生徒の日々の学習成果の定着もより図れるものと思っています。

【3学期制への移行】

本校は、平成19年度以降、授業時間数の確保を主たる目的として2学期制を実施してきました。しかしながら、考査範囲が広がることから3学期制と同数の考査を実施することとなり、結果として授業時間数にそう大きな違いは見られない状況にあります。一方、「前学期・後学期の間に2日間の休業日を設けるために、夏季休業中の暑い中に2日間の授業日を設定しなければならない」「学期の区切りと長期休業期間が一致しないため、学習成果の定着が不十分に生徒に対する指導期間の確保が難しい」等の問題が浮き彫りになってきました。区切り区切りで、生徒の学習状況や生活状況を整理し、長期休業期間を利用して適切な指導をすることが、生徒指導上大切だと考えています。

次年度から実施する『青高テスト』と『3学期制』が、従来取組と相まって、生徒の学力向上に繋がるよう、全教職員で取り組んでまいります。保護者の皆様におかれましても、今まで以上のご支援を賜りますようお願いいたします。

平成24年11月12日

校長 大塚 忠 巳

青流

平成24年度
速報17号

大分県立
別府青山
高等学校
PTA
調査広報
委員会



第2回英語授業研究協議会 開催！！

に育広文授園 き案取一 ま検た講く解シ招学日で
影のく執業で先ま授組日今し証、演授ーユき園・始今
響第ご筆の教生し業のの回たし本を業ーのしの十ま年
を一活、他鞭はたをーは。て校し展新授て石八り度
与人躍講にを、。石貫お二 い先て開学業、黒日、よ
え者さ演英執現 黒とお回 た生いへ習展一文の第り
として会語ら在 先しい目 だ方の指開オ雅両一英
おとで辞れ、福 生てたと 研授き唆要つル生には科
らておの書に、教な し英育り のをしにてン講福月修
れ多り講のい岡 し英育り て語の、 のをしにてン講福月修
まく、師編ま県 て語の、 のをしにてン講福月修
すの英な纂す筑 い科日十 場参た題ものグ師岡十の
。方語ど、が陽 たのー一 と観。しと見りに筑七目
々教幅論、学 だ提の月 し・まてづ ッお陽 的



第二回英語授業研究協議会が、十一月一日(木)に本校において、別府市内を中心に高等学校・中学校から多数の先生が参加して開催されました。



り行を業 究業の脱訳校れ
まわいの午協を工却中二て当
した、だコ後議し夫ー心年き日
た、ダンかをてー。一。一。一
。内きせらおいと内解組ノウ、先
容、プはこたい容説の中生ハウが
の活ト先なだっ理中生徒ウがこ
深発「生いきた解心徒ウがこ
いなどのま、内の授対もれ
研意題「し三容た授対もれ
修見し英た限でめ業象と
会交て語。目提のかにに
と換講で に案発らー、培
なが演授 研授問の和本わ

*青流速報版は本校HPでもご覧いただけます